

厳しいグローバル競争を 生き抜いていく上での必読書

『パブリックリレーションズ(第2版)』

(井之上喬著 日本評論社刊 2600円+税)

加速するグローバル化の基盤」と井之上パブリック・ホルダーとの良好な関係構築活動、つまりリレーションシップ・マネージメント機能をもつパブリック・リレーションズ(P.R.)はグローバル社会

のなか、「様々なステークホルダーとの良好な関係構築活動、つまりリレーションシップ・マネージメント機能をもつパブリック・リレーションズ(P.R.)はグローバル社会

に21世紀におけるPRの役割や重要性を追究し、厳しい競争に晒される経営者や実務家が取り組むべきPRの実践方法や分析手法が明示されている。



井之上氏は、企業経営者、実務家、そして教育者として幅広い顔をもつ。

本書に推薦文を寄せている丹羽宇一郎氏(伊藤忠商事前会長)は、「パブリック・リレーションズは経営そのものだ」と述べており、まさに正鵠を得たものだ。著者はパブリック・リレーションズ分野で日本初となる博士号(早稲田大学・公共経営)を取得したPR業界の第一人者。本書補論に述べられている研究テーマ「自己修正モデル」の中核をなす、「倫理観」「双方向コミュニケーション」「自己修正」は、これからの厳しいグローバル競争を生き抜いていく上で、必須と説く。

PR業界の第一人者が熱く語る

を計画している。PRは、戦後米国内から移入された手法であるが、「日本発のパブリック・リレーションズが世界でどのように受けとめられるか」、今から楽しみです。

内外の企業・政府機関などに広範なコンサル業務を提供してきた。本書にはこうした経験に基づく知見が随所に見られる。教育分野では早稲田大学を皮切りに現在、京都大学経営管理大学院特命教授、国際教養大学客員教授として教壇に立ち、本書を教科書にパブリック・リレーションズを講義している。英語版、中国語版以外にもインドネシアやタイなどアジア地域での現地語による出版を計画している。

PUBLIC RELATIONS

SECOND EDITION

パブリックリレーションズ

RELATIONSHIP MANAGEMENT

井之上 喬

著

2600円+税